



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東  
 コード番号 9997 URL https://www.belluna.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員管理本部長 (氏名)安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	208,298	△1.9	9,787	△12.7	11,831	△5.0	5,839	△21.3
2023年3月期	212,376	△3.5	11,217	△18.9	12,459	△14.3	7,417	△27.3

(注) 包括利益 2024年3月期 11,619百万円(26.6%) 2023年3月期 9,175百万円(24.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	60.39	—	4.5	4.0	4.7
2023年3月期	76.71	—	6.1	4.6	5.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △44百万円 2023年3月期 17百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	300,691	136,182	45.0	1,398.07
2023年3月期	285,592	126,436	43.9	1,297.92

(参考) 自己資本 2024年3月期 135,191百万円 2023年3月期 125,496百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	12,770	△14,403	5,971	37,245
2023年3月期	8,241	△29,924	23,527	31,828

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	1,933	26.1	1.6
2024年3月期	—	10.25	—	10.25	20.50	1,982	33.9	1.5
2025年3月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00		35.1	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	98,000	2.0	3,500	13.1	4,000	△7.5	2,800	△14.2	28.96
通期	217,000	4.2	11,500	17.5	12,500	5.6	8,000	37.0	82.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	97,244,472株	2023年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2024年3月期	545,429株	2023年3月期	554,248株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	96,695,586株	2023年3月期	96,688,261株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	113,283	△8.5	1,295	△75.0	4,328	△34.6	4,453	8.4
2023年3月期	123,743	△6.0	5,187	△24.9	6,622	△9.0	4,109	△28.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	46.06		—					
2023年3月期	42.50		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	262,943	93,561	35.6	967.56
2023年3月期	250,307	89,582	35.8	926.49

(参考) 自己資本 2024年3月期 93,561百万円 2023年3月期 89,582百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により正常化が進み、国内の外出需要や円安を背景としたインバウンド需要の回復により消費活動が活発化する一方で、国外情勢悪化の長期化、資源価格の高止まりや円安進行による物価の上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは円安の影響や原材料・資材の価格高騰を受けアパレル・雑貨事業が苦戦する一方で、インバウンド需要の拡大が追い風になっている国内ホテル事業、他社との差別化をはかった商品展開を行っている化粧品健康食品事業やナース関連事業、通信販売のノウハウ、インフラをサービス提供するデータベース活用事業に注力いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は208,298百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は9,787百万円（同12.7%減）、経常利益は11,831百万円（同5.0%減）となりました。また、投資有価証券売却益が前年同時期より増加した一方で、減損損失が発生したことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益は5,839百万円（同21.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### [アパレル・雑貨事業]

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の影響や原材料・資材の高騰を受け仕入原価及びカタログ・チラシ等の紙媒体費用が上昇したため、収益性の確保を優先し商品価格の見直しや紙媒体の発行数量の抑制を行いました。商品の値上げにより受注単価は上昇したものの、それ以上に受注件数は鈍化する傾向となりました。また、紙媒体の発行数量を抑制したことにより新規顧客の獲得が減少し稼働顧客数も減少傾向となりました。この結果、売上高は74,251百万円（同15.9%減）となり、セグメント損失は2,992百万円（前年同期は930百万円のセグメント利益）となりました。

#### [化粧品健康食品事業]

化粧品事業においては、国内E Cの新規顧客獲得が鮮度時期において好調であったこと、国内卸売販売が拡大したことにより増収増益となりました。健康食品事業においては、通信販売の定期顧客数が減少したことなどにより減収となりましたが、収益性を重視した広告展開を行ったため増益となりました。この結果、売上高は14,718百万円（同0.5%減）となり、セグメント利益は926百万円（同57.5%増）となりました。

#### [グルメ事業]

グルメ通販事業においては、新型コロナウイルス感染症の収束による外食・外飲みへの回帰影響などにより売上の伸長率が鈍化しました。また、円安の影響や原材料・資材の高騰を受け仕入原価が上昇し、一部商品の販売価格の見直しを行ったものの原価率は悪化しました。この結果、売上高は32,438百万円（同0.4%増）となり、セグメント利益は1,091百万円（同38.1%減）となりました。

#### [ナース関連事業]

看護師向け通販事業においては、各シーズンの紙媒体の発行部数の抑制や発行回数自体の見直しを行うなど収益性を重視しました。また、法人受注の獲得に注力したため受注件数も改善傾向となりました。この結果、売上高は12,975百万円（同7.8%減）となり、セグメント利益は481百万円（同102.7%増）となりました。

#### [データベース活用事業]

封入・同送サービスにおいては、新規クライアントの獲得や新たなサービス展開は順調であったものの、アパレル・雑貨事業における紙媒体の発行数の抑制や商品出荷件数の減少により減収減益となりました。フルフィルメント受託サービスにおいては、新規クライアントの獲得は順調であったものの、人件費等の上昇などにより増収減益となりました。ファイナンス事業においては、貸倒が増加傾向にあるものの、新規顧客の獲得が順調であったため増収増益となりました。この結果、売上高は16,725百万円（同6.2%増）となり、セグメント利益は5,150百万円（同9.7%減）となりました。

## 〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の撤退、既存店舗の来客数の減少や購入単価の下落により減収となりました。一方でコスト削減を継続推進したことにより増益となりました。衣裳レンタル事業においては、卒業式袴の早期受注会の実施拡大、前撮りサービスといった新しい取組みにより増収増益となりました。この結果、売上高は23,248百万円（同2.6%減）となり、セグメント利益は1,357百万円（同9.0%増）となりました。

## 〔プロパティ事業〕

ホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症の収束により国内旅行や出張・インバウンド需要が回復したことで、国内海外共に既存ホテルの稼働率や客室単価が上昇しました。また、国内の新規ホテルが通期で業績に寄与したことなどもあり増収増益となりました。この結果、売上高は30,851百万円（同54.4%増）となり、セグメント利益は4,143百万円（同203.2%増）となりました。

## 〔その他の事業〕

飲食店事業においては、新型コロナウイルス感染症の収束により外食需要が回復したことや新規出店を行ったことにより増収増益となりました。アパレル卸事業においてはクライアントの展開縮小などが継続しているため減収減益となりました。この結果、売上高は3,833百万円（同7.6%減）となり、セグメント損失は152百万円（前年同期は92百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末比7,297百万円増加し、129,961百万円となりました。これは主に、商品及び製品が2,300百万円減少した一方で、現金及び預金が3,731百万円、営業貸付金が2,371百万円、その他の流動資産が3,259百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比7,801百万円増加し、170,730百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が17,421百万円減少した一方で、建物及び構築物が21,557百万円、機械装置及び運搬具が1,463百万円、リース資産が1,837百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比15,099百万円増加し、300,691百万円となりました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末比5,380百万円減少し、59,206百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が4,995百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が2,788百万円、短期借入金が7,235百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比10,734百万円増加し、105,302百万円となりました。これは主に、社債が5,015百万円減少した一方で、長期借入金が13,101百万円、リース債務が2,114百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比5,353百万円増加し、164,509百万円となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末比9,745百万円増加し、136,182百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.0%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比5,416百万円増の37,245百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、12,770百万円（前年同期は8,241百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益9,772百万円、減価償却費5,435百万円、固定資産減損損失3,433百万円、棚卸資産の減少2,471百万円、販売用不動産の減少1,016百万円などです。主な減少要因は、営業貸付金の増加2,404百万円、仕入債務の減少2,243百万円、その他の流動負債の減少1,912百万円、法人税等の支払額3,832百万円などです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、14,403百万円（前年同期は29,924百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出15,653百万円、無形固定資産の取得による支出1,128百万円、投資有価証券の取得による支出1,359百万円などです。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入3,761百万円などです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は、5,971百万円（前年同期は23,527百万円の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入による収入25,307百万円、セール・アンド・リースバックによる収入2,737百万円などです。主な減少要因は、短期借入金の純増減額9,000百万円、長期借入金の返済による支出10,753百万円、配当金の支払額1,958百万円などです。

## （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	45.7	46.9	46.5	43.9	45.0
時価ベースの自己資本比率	20.8	52.2	27.6	23.8	19.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	11.9	3.5	11.8	13.5	9.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	35.5	103.8	29.1	23.8	26.7

自己資本比率：自己資本／純資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、景気回復基調が持続し、雇用・所得環境の改善が図られ景気が緩やかに回復していくことが期待されます。特にインバウンド需要は、構造的な円安を背景に当面は力強く推移するものと見込まれます。一方で物価上昇の長期化に伴う消費マインドの停滞、中東情勢・ウクライナ情勢など地政学リスクの影響や日銀の金融政策による為替・金利など不透明なマクロ動向が国内の消費環境を停滞させる可能性もあります。

当社グループにおきましても、インバウンド需要の更なる拡大を好機と捉え、ホテル展開を軸としたプロパティ事業を当社グループの重要な成長ドライバーと位置づけ注力して参ります。これに加え、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業といった消費マインドの影響を受けにくい専門的事業領域の成長を優先し安定的な拡大を進めます。アパレル・雑貨事業におきましては新規獲得を適正水準に戻し、リピート率も回復させることで事業規模と効率を改善しセグメント営業利益の早期黒字化を目指して参ります。

次期連結業績予想については、売上高は217,000百万円、営業利益は11,500百万円、経常利益は12,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8,000百万円となる見通しです。現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,111	35,842
受取手形	88	67
売掛金	10,309	10,502
営業貸付金	29,378	31,750
有価証券	170	695
商品及び製品	28,397	26,097
原材料及び貯蔵品	1,530	1,487
販売用不動産	5,780	5,129
仕掛販売用不動産	2,893	3,205
その他	12,817	16,076
貸倒引当金	△811	△892
流動資産合計	122,664	129,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,560	91,405
減価償却累計額	△23,646	△25,935
建物及び構築物(純額)	43,913	65,470
機械装置及び運搬具	10,350	12,527
減価償却累計額	△3,668	△4,381
機械装置及び運搬具(純額)	6,681	8,145
工具、器具及び備品	5,215	6,070
減価償却累計額	△3,417	△4,115
工具、器具及び備品(純額)	1,797	1,954
土地	46,919	46,739
リース資産	538	2,660
減価償却累計額	△382	△667
リース資産(純額)	156	1,993
建設仮勘定	30,027	12,605
有形固定資産合計	129,495	136,909
無形固定資産		
のれん	1,487	1,044
リース資産	352	799
その他	8,734	9,049
無形固定資産合計	10,574	10,893
投資その他の資産		
投資有価証券	14,371	14,614
長期貸付金	1,812	1,998
破産更生債権等	179	211
繰延税金資産	1,396	598
その他	5,724	6,209
貸倒引当金	△627	△705
投資その他の資産合計	22,857	22,927
固定資産合計	162,928	170,730
資産合計	285,592	300,691



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,723	10,934
電子記録債務	5,442	5,682
未払費用	15,086	14,631
短期借入金	20,326	13,090
1年内償還予定の社債	20	5,015
リース債務	239	489
未払法人税等	1,875	2,210
契約負債	3,756	3,557
賞与引当金	1,028	1,058
店舗閉鎖損失引当金	13	-
その他	3,074	2,536
流動負債合計	64,587	59,206
固定負債		
社債	5,020	5
長期借入金	85,462	98,563
利息返還損失引当金	389	335
リース債務	273	2,387
退職給付に係る負債	160	331
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,134	1,076
修繕引当金	94	117
その他	1,785	2,236
固定負債合計	94,568	105,302
負債合計	159,155	164,509
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,951	10,950
利益剰余金	108,663	112,545
自己株式	△462	△455
株主資本合計	129,765	133,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	3,028
繰延ヘッジ損益	106	496
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△6,071	△1,979
退職給付に係る調整累計額	0	1
その他の包括利益累計額合計	△4,268	1,539
非支配株主持分	940	990
純資産合計	126,436	136,182
負債純資産合計	285,592	300,691

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	212,376	208,298
売上原価	86,674	81,953
売上総利益	125,701	126,345
販売費及び一般管理費	114,484	116,557
営業利益	11,217	9,787
営業外収益		
受取利息	103	257
受取配当金	301	793
受取賃貸料	35	32
支払不要債務益	32	28
受取補償金	111	71
為替差益	905	1,472
助成金収入	353	85
投資事業組合運用益	72	-
その他	382	363
営業外収益合計	2,297	3,105
営業外費用		
支払利息	343	481
支払手数料	452	194
減価償却費	21	22
店舗閉鎖損失	131	138
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13	-
その他	92	224
営業外費用合計	1,055	1,061
経常利益	12,459	11,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	11	15
投資有価証券売却益	18	1,369
投資有価証券償還益	-	7
特別利益合計	29	1,391
特別損失		
固定資産除却損	317	16
減損損失	167	3,433
有価証券評価損	50	-
特別損失合計	534	3,450
税金等調整前当期純利益	11,953	9,772
法人税、住民税及び事業税	4,503	3,874
法人税等調整額	△6	180
法人税等合計	4,497	4,055
当期純利益	7,456	5,717
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	39	△121
親会社株主に帰属する当期純利益	7,417	5,839

## 連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	7,456	5,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329	1,325
繰延ヘッジ損益	124	389
為替換算調整勘定	1,227	4,185
退職給付に係る調整額	36	0
その他の包括利益合計	1,718	5,901
包括利益	9,175	11,619
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,108	11,647
非支配株主に係る包括利益	66	△28

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,612	10,951	103,131	△467	124,228
当期変動額					
剰余金の配当			△1,885		△1,885
親会社株主に帰属する当期純利益			7,417		7,417
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					-
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		4	4
連結子会社の増資による持分の増減					-
連結子会社の減資による持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△0	5,531	4	5,536
当期末残高	10,612	10,951	108,663	△462	129,765

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,373	△18	△7	△7,271	△35	△5,959	775	119,044
当期変動額								
剰余金の配当						-		△1,885
親会社株主に帰属する当期純利益						-		7,417
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減						-	100	100
自己株式の取得						-		△0
自己株式の処分						-		4
連結子会社の増資による持分の増減						-	-	-
連結子会社の減資による持分の増減						-	△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	329	124	-	1,200	36	1,691	65	1,757
当期変動額合計	329	124	-	1,200	36	1,691	164	7,392
当期末残高	1,702	106	△7	△6,071	0	△4,268	940	126,436

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,612	10,951	108,663	△462	129,765
当期変動額					
剰余金の配当			△1,958		△1,958
親会社株主に帰属する当期純利益			5,839		5,839
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					-
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△1		7	6
連結子会社の増資による持分の増減					-
連結子会社の減資による持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△1	3,881	7	3,887
当期末残高	10,612	10,950	112,545	△455	133,652

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,702	106	△7	△6,071	0	△4,268	940	126,436
当期変動額								
剰余金の配当						-		△1,958
親会社株主に帰属する当期純利益						-		5,839
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減						-	-	-
自己株式の取得						-		△0
自己株式の処分						-		6
連結子会社の増資による持分の増減						-	78	78
連結子会社の減資による持分の増減						-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,325	389	-	4,091	0	5,807	△28	5,779
当期変動額合計	1,325	389	-	4,091	0	5,807	50	9,745
当期末残高	3,028	496	△7	△1,979	1	1,539	990	136,182

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,953	9,772
減価償却費	3,792	5,435
減損損失	167	3,433
のれん償却額	766	499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	98	100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54	22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	15
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△136	△54
修繕引当金の増減額 (△は減少)	29	23
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	13	△13
受取利息及び受取配当金	△404	△1,050
支払利息	343	481
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18	△1,369
有価証券評価損益 (△は益)	50	-
為替差損益 (△は益)	△220	△392
固定資産除却損	317	16
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	453	△111
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△1,960	△2,404
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,927	2,471
販売用不動産の増減額 (△は増加)	2,089	1,016
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	103	128
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,408	△2,243
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,172	△1,912
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△97	219
その他	1,121	1,849
小計	13,005	15,919
利息及び配当金の受取額	400	1,041
利息の支払額	△345	△478
法人税等の還付額	61	119
法人税等の支払額	△4,880	△3,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,241	12,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400	-
定期預金の払戻による収入	-	454
有価証券の売却による収入	8	-
有形固定資産の取得による支出	△28,179	△15,653
有形固定資産の売却による収入	55	16
無形固定資産の取得による支出	△1,826	△1,128
投資有価証券の取得による支出	△897	△1,359
投資有価証券の売却による収入	624	3,761
子会社株式の取得による支出	-	△5
貸付けによる支出	△16	△245
貸付金の回収による収入	231	12
差入保証金の差入による支出	△134	△203
差入保証金の回収による収入	257	156
その他の支出	△453	△212
その他の収入	7	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	800	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,924	△14,403
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,849	△9,000
長期借入れによる収入	33,342	25,307
長期借入金の返済による支出	△6,605	△10,753
社債の償還による支出	△5,010	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,885	△1,958
非支配株主からの払込みによる収入	100	78
非支配株主への配当金の支払額	△0	-
リース債務の返済による支出	△262	△421
セール・アンド・リースバックによる収入	-	2,737
その他	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,527	5,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	414	1,077
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,259	5,416
現金及び現金同等物の期首残高	29,569	31,828
現金及び現金同等物の期末残高	31,828	37,245



## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営資源の有効活用によって様々なニーズに応えたサービスを展開する通信販売総合商社を目指して展開しております。当社グループは、「アパレル・雑貨事業」「化粧品健康食品事業」「グルメ事業」「ナース関連事業」「データベース活用事業」「呉服関連事業」「プロパティ事業」「その他の事業」の8つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

- |             |   |
|-------------|---|
| ①アパレル・雑貨事業  | ミセス層中心のカタログ・ネット通販（総合通販）、モール展開（R y u R y u m a 1 1）、ネット専門通販（ミン・アイシーネット・丸長・セレクト）、アパレル店舗（バルーナ） |
| ②化粧品健康食品事業  | 化粧品通販（オージオ・なちゅライフ）、健康食品通販（リフレ）  |
| ③グルメ事業      | 食品通販、日本酒通販、ワイン通販  |
| ④ナース関連事業    | 看護師向け通販（ナースリー・アンファミエ）、看護師人材紹介（ナースキャリアネクスト・JOB STUDIO）                                       |
| ⑤データベース活用事業 | 封入・同送サービス事業（バルーナダイレクト）、通販代行サービス（BBS）、会員向けファイナンス事業（バルーナノーティス）、物流3PL事業（BGL・レーベル）              |
| ⑥呉服関連事業     | 和装店舗（BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋）、大学生の卒業式袴等衣裳レンタル事業（マイム）   |
| ⑦プロパティ事業    | 不動産事業（オフィスビル等の賃貸・開発・販売）、ホテル事業、太陽光発電事業、地熱発電事業  |
| ⑧その他の事業     | 卸売事業、ゴルフ場運営事業、飲食店事業、宿泊予約事業等   |

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ イ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	88,047	14,790	32,043	14,064	15,663	164,609	23,772	19,909	4,084	—	212,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	266	1	263	11	89	632	93	77	64	△867	—
計	88,314	14,792	32,306	14,076	15,752	165,242	23,865	19,986	4,149	△867	212,376
セグメント利益 (又は セグメント損失△)	930	588	1,763	237	5,700	9,221	1,246	1,366	△92	△523	11,217
セグメント資産	80,696	8,611	11,692	8,254	40,062	149,317	12,246	118,244	3,920	1,862	285,592
その他の項目											
減価償却費(注3)	1,111	116	187	128	174	1,717	147	1,930	69	—	3,865
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	766	766
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注3)	9,872	31	340	119	343	10,707	216	19,694	78	198	30,894

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益 (又はセグメント損失△) の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳243百万円とのれん償却費△766百万円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、当社の福利厚生施設375百万円、のれんの当期末残高1,487百万円であります。

2. セグメント利益 (又はセグメント損失△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用にかかる償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ イ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	74,116	14,716	32,106	12,975	16,679	150,594	23,172	30,747	3,783	—	208,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	1	332	0	46	515	75	104	50	△746	—
計	74,251	14,718	32,438	12,975	16,725	151,109	23,248	30,851	3,833	△746	208,298
セグメント利益 (又は セグメント損失△)	△2,992	926	1,091	481	5,150	4,657	1,357	4,143	△152	△218	9,787
セグメント資産	81,088	8,299	14,991	8,143	41,368	153,890	12,670	128,874	3,838	1,416	300,691
その他の項目											
減価償却費(注3)	1,850	112	275	116	260	2,615	146	2,682	77	—	5,521
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	499	499
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注3)	3,715	45	1,352	69	256	5,438	300	10,953	258	13	16,964

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益 (又はセグメント損失△) の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳280百万円とのれん償却費△499百万円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、当社の福利厚生施設371百万円、のれんの当期末残高1,044百万円であります。

2. セグメント利益 (又はセグメント損失△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用にかかる償却額が含まれております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
116,111	13,384	129,495

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
121,983	14,925	136,909

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	通販事業						呉服関連事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
	アパレル・雑貨事業	化粧品健康食品事業	グルメ事業	ナース関連事業	データベース活用事業	小計					
減損損失	113	—	—	25	—	138	28	—	—	—	167

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	通販事業						呉服関連事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
	アパレル・雑貨事業	化粧品健康食品事業	グルメ事業	ナース関連事業	データベース活用事業	小計					
減損損失	39	—	—	—	—	39	13	3,380	—	—	3,433

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ イ事業	その他の 事業	全社・ 消去	合計
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連事業	データ ベース 活用事業	小計					
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	766	766
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,487	1,487

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ イ事業	その他の 事業	全社・ 消去	合計
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連事業	データ ベース 活用事業	小計					
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	499	499
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,044	1,044

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,297.92円	1,398.07円
1株当たり当期純利益金額	76.71円	60.39円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	—円	—円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	7,417	5,839
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,417	5,839
期中平均株式数(千株)	96,688	96,695

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。